

「2020年度に向けた政策・制度要求と提言」について 川崎市より回答を受領！

12月10日（火）川崎市役所第3庁舎にて、
福田市長から2020年度に向けた標記要求に対する回答書を受領しました。



福田市長から回答書を受領

回答会議は冒頭、福田市長より「台風19号による災害ボランティアの協力に感謝したい。また、災害対応含め課題は山積している。情報を共有し一緒に解決していくパートナーとして引き続き、ご指導をお願いしたい」と挨拶されました。



挨拶をする福田市長

2020年度に向けた重点要求として、

- ① J R南部線の輸送力増強と駅の安全対策
- ② 横須賀線「武蔵小杉駅」の混雑緩和と安全対策
- ③ 南武線「平間駅」の踏切と周辺の安全対策
- ④ 地域包括ケアシステムの推進
- ⑤ すべての世代が安心して暮らすための方策
- ⑥ 格差・貧困社会の是正
- ⑦ 食品ロス削減の推進
- ⑧ フードバンク活動の普及
- ⑨ ヘイトスピーチに対する取り組み
- ⑩ 洪水・浸水に対する取り組み

について回答をいただきました。

また、対市要求として「産業・労働・雇用」「都市整備」「健康・福祉・医療」「平和・人権」「行政」「道路交通」「生活環境」「環境・エネルギー」「教育」の分野から48項目に対し回答をいただきました。

その後の意見交換では、委員からの質問・意見に対して、市長が答弁を行いました。



挨拶をする藤吉議長

川崎地域連合 藤吉議長からは「市民に必要なことは継続して要請しているのでご理解いただきたい。また、数年後の市制100周年に向けて住みやすく働きやすい川崎市になるよう協力したい」と述べました。

